

## この月経は異常でしょうか？

### (思春期・青春編)

小学校の終わりから高校卒業のころの方

小学校では「性教育」があります。

家庭では、お母さんが「性教育」をしていると思います。

ご存じのことも多いと思いますが、産婦人科医へご相談いただくことを挙げてみます。

(ケース1) 初経（しょけい、初めての月経＝初潮：しょちょう）は、まだですが・・・

早い女性では10歳頃に始まります。**体脂肪量**が少ないと遅い傾向があります。

**18歳**になっても初経がない場合は産婦人科医に相談したほうが良いでしょう。（15～16歳でのご相談でもいいです）

(ケース2) 初経はまだですが、月に1度、下腹が痛い、張った感じがある。それが、毎月、だんだん強くなっています。

「**月経モリミナ**」という症状です。念のため、産婦人科医に相談しましょう。膣（ちつ）の出口が閉じている場合があります。

(ケース3) 初経はあったが、その後は月経は不規則です。  
数ヶ月間、ないこともあります。

月経が始まったばかりの頃なら、まったく問題がないこともありますが、**体重が急に減ったり、精神的ストレス**を強く受けたことが原因である場合もあります。産婦人科医に相談しましょう。



強いストレス下では、女性の身体が月経や妊娠に耐えうる状況ではないという「神様のご配慮」でしょうか・・・

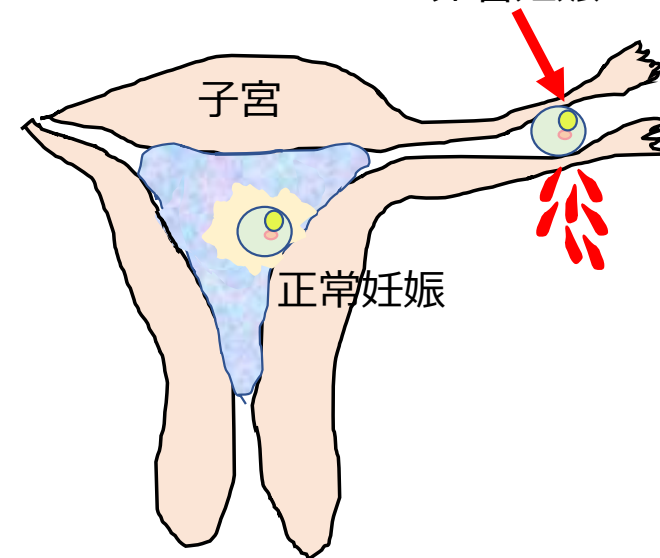
**注目!** ♀月経があるということは妊娠が可能だと考えます。月経が遅れて「心当たり」がある場合は、妊娠反応検査をしましょう。**妊娠反応陽性だった場合は、異所性妊娠（卵管妊娠）の場合もありますので、放っておかず、必ず、産婦人科医に相談しなくてははいけません。**

妊娠検査キット



妊娠反応陽性

異所性（いしょせい）妊娠のひとつ  
卵管妊娠



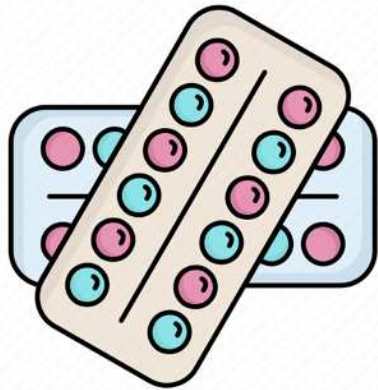
卵管妊娠は異常妊娠です。  
そのままにしておくと、**卵管が破れておなかの中で出血が始まり、命に関わる可能性があります。**

## (ケース4) 初経が始まりましたが、毎月、月経痛が強く、日常生活や学校生活にも不安があります。

お薬を調整することで生理の回数を減らすことができますよ



ぜひ、産婦人科医に相談してください。念のため、超音波検査やMRI検査（痛い検査ではありません）を実施して子宮や卵巣に異常がないかどうかみた上で、ホルモン剤による対応を提案します。出血量が減りと痛みが弱まります。ホルモン剤と聞くと戸惑う方もいますが、いい薬がありますので、医師とよく相談してください。月経を**必要以上にネガティブ**に捉えてしまうことは良くありませんので、上手に付き合っていく必要があります。また、**子宮内膜症の発症を予防**できるかもしれません。



**注目！** ♀ 婦人科で使うホルモン剤は、主に**エストロゲンとプロゲステロンを混ぜた合剤**です。効果が得られる**最低限の投与量**になっています。ケースによってはプロゲステロンだけを使用することもあります。

作成：林 和俊